

2026年度 JICA筑波 大学生・大学院生向け国際協力理解講座(案)
 プログラムNo. 4 : 稲作技術向上 (普及員) プログラム概要票

別紙1-④

1. 基本情報 *講師や諸般の都合により、プログラム内容が変更になることもあります。予めご了承願います。

1) 研修コース名 :	稲作技術向上 (普及員) コース
2) 担当者名 :	落合 智佳子 (研修コース委託先業務総括 : 宍戸氏)
3) 期間 (日数) :	8月31日 (月) ~9月4日 (金) 5日間
4) 定員 :	受入人数 2人程度
5) 言語 :	英語 (英語で研修を実施しているため講義や通常の会話を理解できるレベル) ※目安 (TOEIC 600点程度) 必ずしもTOEIC等の点数が十分でなかったとしても、積極的に研修員と言語・非言語のコミュニケーションを取る姿勢を有すること。
6) 主な対象学生 :	大学学部3年生以上または大学院生 (修士) が望ましい。
7) 研修員の出身国 :	ガーナ (1)、リベリア (1)、マラウイ (1)、ウガンダ (1)、カメルーン (1、女性)、モザンビーク (2、内1人女性)、南スーダン (1)、エチオピア (1) ※ () 括弧内は人数

2. コンテンツ

本プログラムの目的	実験・実習を通してJICAの技術援助活動の現場 (稲作技術向上) を理解する。研修員との交流を通じて相互理解をはかる。
-----------	---

日程表

No	日付	曜日	時間	テーマ	概要
1	2026/8/31	月	09:00-09:25	プログラムオリエンテーション (日本語)	関係者紹介、プログラム説明、諸連絡等
			09:30-09:40	大学生講座参加者の自己紹介	
			09:45-12:15	実験/実習 (収穫及び収量調査)	
			13:30-16:00	実験/実習 (収穫及び収量調査)	
2	2026/9/1	火	09:45-12:15	農村社会調査の基礎 ① (講義)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業改良普及員として必要な農家への聞き取り調査とそのデータ分析の方法を学ぶ。 ・スマホを使い距離や面積を測定する方法を習得する。 ・その他
			13:30-16:00	農村社会調査の基礎 ② (講義)	
3	2026/9/2	水	09:45-12:15	農村社会調査の基礎 ③ (講義)	
			13:30-16:00	農村社会調査の基礎 ④ (講義)	
			17:00-17:30	中間レビュー (日本語)	
4	2026/9/3	木	09:45-12:15	実験/実習 (収穫及び収量調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・坪刈りや五斜線法によるサンプリング収穫を行い収量調査を実施する。 ・バインダーやコンバインによる機械による収穫作業を実習する。 ・実験グループ別に区画ごとのサンプル株を用いて収量及び収量構成要素を測定する。
			13:30-16:00	実験/実習 (収穫及び収量調査)	
5	2026/9/4	金	09:45-12:15	実験/実習 (収穫及び収量調査)	
			13:30-16:00	実験/実習 (収穫及び収量調査)	
			16:15-17:15	プログラム振り返り (英語)	

3. 留意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・上記日程表は現時点での案であり、稲の生育状況、天候等の都合により変更の可能性があります。 ・JICA筑波の圃場または筑波大学農場における作業 (収穫及び収穫前の収量調査やサンプリング作業がメイン) を行いますので、研修員同様に水田内に入り稲刈り鎌をします。そのため長靴 (田植え長靴ではない通常のゴム長靴) と作業手袋、汚れてもよい作業服、帽子、雨除けのレインコートを持参してください。 ・稲刈りの機械実習では安全のため髪は長い方は対策をお願いします (束ねるか三つ編みにして帽子内に収めるなど)。また機械の扱いに危険な服装や身なりと判断される方は、代わりに機械を扱わない他の作業を行っていただきます。 ・開始時間には時間厳守で集合してください。終了時間は、作業の関係で遅れることがあります。
--

4. 学生さんへ一言

国内での国際協力の現場を体験できます。研修を実施している関係者や研修員と積極的に関わるにより、稲作技術以外にも多くのことを学べる実りあるプログラムです。研修は英語で行われているために研修員とは英語でのコミュニケーションになりますが恐れず積極的な参加を期待します。

5. その他

・対象者は一定の自然科学的知識 (簡単な生物学の知識) を有している学生を想定していますが、この期間中の研修はそれほど高度な内容を含んでおりません。そのために文系の学生さんでも心配なく参加できると思います。
